

# 令和5年度年間授業計画

教科:美術 科目:素描 校内科目名:素描  
 教科担当者:栗原 典子

対象年次:3

2単位

使用教科書・教材

教材費:800円

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<p>&lt;1学期&gt;</p> <p>1. 応用:「室内静物」デッサン                      木炭紙または画用紙 木炭または鉛筆                      石膏と椅子を組み合わせ、室内に置いたことを想定して描く。                      基礎:「相貫体」デッサン                      八つ切りサイズ画用紙                      デッサンの基本を学び、形態把握、立体感の表現基礎を身に付ける。</p> <p>2. 「自画像」デッサン                      木炭紙または画用紙 木炭または鉛筆                      自分の手を見つめ、骨格を理解し、質感を表するとともに、与えられたテーマに沿ったポーズを構成しデッサンする。</p>	<p>美術系大学、専門学校等への進学を念頭に置き、デッサン力の向上を目指す。希望進路別の傾向によってデッサンを行い、さらに構成系又はイメージ系の選択により、デッサンの能力を確実なものとする。</p>	<p>1 作品に完成度、密度が感じられること                      2 課題の意図を理解し、的確に表現できていること                      3 実習を休まないこと、熱意を持って課題に取り組み、提出期限を守ること</p>	22
2 学期	<p>&lt;2学期&gt;</p> <p>3. 応用:構成デッサン                      様々なモチーフとの組み立てやイメージ構成的な等身大の人物など、独創的で作品性の高いものに仕上げる。                      B1パネルに鉛筆とチャコールペンシル、木炭精粉等の様々な素描材料を併用し作成する。                      基礎:①静物デッサン                      木炭紙大画用紙                      様々な質感のモチーフを描き分け、台の上に乗った静物を平面上に表現する方法を学ぶ。                      ②構成デッサン                      木炭紙大画用紙                      様々なモチーフの組み合わせで構成したデッサンを制作する。</p>	<p>美術系大学、専門学校等への進学を念頭に置き、デッサン力の向上を目指す。希望進路別の傾向によってデッサンを行い、さらに構成系又はイメージ系の選択により、デッサンの能力を確実なものとする。</p>	<p>1 作品に完成度、密度が感じられること                      2 課題の意図を理解し、的確に表現できていること                      3 実習を休まないこと、熱意を持って課題に取り組み、提出期限を守ること</p>	28
3 学期	<p>&lt;3学期&gt;                      まとめ・講評                      展示</p>	<p>美術系大学、専門学校等への進学を念頭に置き、デッサン力の向上を目指す。希望進路別の傾向によってデッサンを行い、さらに構成系又はイメージ系の選択により、デッサンの能力を確実なものとする。</p>	<p>1 作品に完成度、密度が感じられること                      2 課題の意図を理解し、的確に表現できていること                      3 実習を休まないこと、熱意を持って課題に取り組み、提出期限を守ること</p>	20
			合計	70

# 令和5年度年間授業計画

教科:美術 科目:絵画 校内科目名:絵画  
教科担当者:栗原 典子

対象年次:3

4単位

使用教科書・教材

教材費:(個別によって異なる)

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<p>&lt;1学期&gt; 1「体育祭ポスター」 B3パネル 体育祭のポスターを描き、視覚伝達デザインを学ぶ</p> <p>2「構想画」 F20以上 画材を各自で選び、静物、風景、人物など組み合わせて描く</p>	<p>美術系大学、専門学校等への入試を念頭に置き、実習を通して油彩表現の技術を高めるが、さらに卒業制作として、大作の作品を作成することが最終的な目標である。</p>	<p>1 作品の完成度と表現力 2 課題を理解し的確に表現できていること 3 実習を休まないこと、計画的に課題に取り組み、最終的に卒業制作で完結できること</p>	44
2 学期	<p>&lt;2学期&gt; 3「抽象(マチエール研究)」 F6紙キャンバス 油彩・コラージュ他 技法実験的にマチエールと色彩を工夫して表現する。再現から表現へ意識を変える試みを行う</p> <p>4「卒業制作」 30号～60号キャンバス 油彩 自分で決めたテーマで制作する。高校生活の集大成として、かなりの力作を期待する。内容、表現方法すべて自由。</p>	<p>美術系大学、専門学校等への入試を念頭に置き、実習を通して油彩表現の技術を高めるが、さらに卒業制作として、大作の作品を作成することが最終的な目標である。</p>	<p>1 作品の完成度と表現力 2 課題を理解し的確に表現できていること 3 実習を休まないこと、計画的に課題に取り組み、最終的に卒業制作で完結できること</p>	56
3 学期	<p>&lt;3学期&gt; まとめ 年度末に卒業制作展を校内で行い、希望者は外部コンクールでも発表する。</p>	<p>美術系大学、専門学校等への入試を念頭に置き、実習を通して油彩表現の技術を高めるが、さらに卒業制作として、大作の作品を作成することが最終的な目標である。</p>	<p>1 作品の完成度と表現力 2 課題を理解し的確に表現できていること 3 実習を休まないこと、計画的に課題に取り組み、最終的に卒業制作で完結できること</p>	40
合計				140